

表2. 濃尾平野南西域の農業用水路の水草相変化

調査年	1979	1996
抽水植物		
ヨ シ	+	+
マ コ モ	+	+
キシウスズメノヒエ	+	+
オ オ フ サ モ	+	-
浮葉植物		
ト チ カ ガ ミ	+	-
ガ ガ ブ タ	+	-
ヒ シ	-	+
沈水植物		
マ ツ モ	+	-
ク ロ モ	+	+
ホソバミズヒキモ	-	+
エ ビ モ	+	+
リュウノヒゲモ	+	+
イ ト モ	+	-
浮遊植物		
ホ テ イ ア オ イ	+	+
ウ キ ク サ	卍	+
コ ウ キ ク サ	+	+
ア オ ウ キ ク サ	+	+
ミジンコウキクサ	+	-
イボウキクサ	+	-
サンショウモ	+	-

・調査地点23, ・調査日, 1979. 7. 26, 1996. 7. 27.
 ・出現頻度 1——25——50——75——100%
 (+) (++) (卍) (+++)

周辺の宅地開発にともなう生活雑排水による水質悪化も水草の絶滅, 減少をおこす原因となっている。

4. まとめ

農耕地の整備事業にともなうコンクリート3面張り水路への改修, 生活雑排水による水質の悪化により, 濃尾平野南西域の農業用水路の水草は急激に減少している。さらに, 水路改修により水田の管理様式にも変化がみられ, 稲の作付け期以外乾田化することで, 水田の水生雑草(水草)にも急激な減少がみられる。

5. 参考文献

- 浜島繁隆, 1983. 濃尾平野における農業用水路の水生雑草の分布と2・3の環境要因. 雑草研究 28. (4): 266—270.
 浜島繁隆, 1990. 鍋田干拓地内農業用排水路の水草. 水草研究会会報 41: 12—14.
 浜島繁隆, 1994. 水草の世界に見られる最近の変化. プランタ 33: 18—24.

○富山県河川植生研究会編集・発行『富山県5大河川の水辺の植生(黒部川・常願寺川・神通川・庄川・小矢部川)』(1997年3月, A4版93p.)

建設省による水辺の国勢調査(植物調査)の結果をもとに, 富山県の河川ならびに河原の植物に対する理解を深めてもらうために編集されたという。上記の5つの川ごとに河原から水中に生育する植物の概況が扇頂部, 扇中央部, 扇端部にわけて記述され, 各河川の特徴が考察されている。その結果を踏まえて「富山県の河原の植物相」

として出現種の比較や帰化種の実態, 保護上重要な植物の出現状況をまとめている。巻頭には15ページにわたるカラー写真, 巻末には植生図と河川別出現植物一覧表がついている。湿地や水中の植物に関する記述も随所があり, 富山県の主要河川の水草の概略を知るにはたいへん参考になる。(角野康郎)